

学 校 教 育

➤ 1 当別町小中学校現況

1 児童生徒・教職員数及び施設の概況

学校名	区分	学級数 (学級)		児童生徒数 (人)								教職員数 (人)					
		普通	特別 支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭
1	当別小学校	12	4	56	52	69	65	73	72	8	395	1	1	23	1	2	1
2	弁華別小学校	3		1	3	0	4	2	3		13	1	1	3	1		
3	西当別小学校	12	2	50	41	43	42	57	55	5	293	1	1	17	1	1	
小学校計		27	6	107	96	112	111	132	130	13	701	3	3	43	3	3	1
1	当別中学校	8	2	87	77	88				6	258	1	1	18	1	1	
2	西当別中学校	6	3	48	79	62				4	193	1	1	15	1	1	
3	弁華別中学校	2		2	2	5					9	1		5		1	
中学校計		16	5	137	158	155				10	460	3	2	38	2	2	
合計		43	11							23	1161	6	5	81	5	5	1

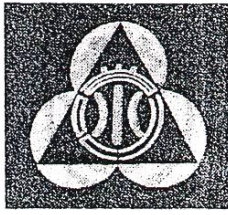
※平成27年5月1日現在の学校基本調査による

学校名	校舎 構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	R	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
弁華別小学校	W	1,434	305	12,228	昭和12年	昭和12年
西当別小学校	R	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		10,707	1,990	48,984		
当別中学校	R	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	R	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
弁華別中学校	R	1,734	681	14,731	昭和54年	昭和61年
中学校合計		9,807	2,309	86,790		
小中合計		20,514	4,299	135,774		

※R：鉄筋コンクリート造、W：木造

当 別 小 学 校

校章・所在地



〒061-0222
 北海道石狩郡当別町元町 102 番地
 電話：0133-23-2102 FAX: : 0133-23-3760

【校章の意味】

中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。

校歌

<p style="text-align: center;">二 由緒も深き 開拓の 先人の意気しのびつつ 心をつくし 身をつくし 誠の道にはげみなん</p>	<p style="text-align: center;">一 紫雲にけふる 阿蘇の山 麓をめぐる当別の 流れつきせぬ 学びやに 至誠の華は香るなり</p>	<p style="text-align: center;">作 詞 大橋 涉 作曲 末武 義雄</p>
---	---	--

沿革の概要

<p>明治 5年</p>	<p>鮎田如牛が当別町において開塾</p>	<p>14年</p>	<p>開校130周年記念写真集作成</p>
<p>6年</p>	<p>「当別教育所」と改称</p>	<p>16年</p>	<p>石狩管内教育機器連盟研究大会開催</p>
<p>39年</p>	<p>校舎現在地移転</p>	<p>17年</p>	<p>石狩管内教育実践奨励表彰受賞</p>
<p>43年</p>	<p>北海道庁官より教育の侯に対し選賞</p>	<p>22年</p>	<p>ことばの教室が通級指導教室となる</p>
<p>大正 9年</p>	<p>校舎新築</p>	<p>24年</p>	<p>オヤジの会発足</p>
<p>昭和 22年</p>	<p>6・3制により「当別小学校」と改称</p>	<p>25年</p>	<p>当教研主催学校研究発表会開催</p>
<p>39年</p>	<p>特殊学級「いなほ」1学級認可</p>	<p>26年</p>	<p>南校舎耐震工事完了</p>
<p>41年</p>	<p>石狩教育研究会特別活動中心校指定</p>	<p>27年</p>	<p>体育館改築</p>
<p>44年</p>	<p>プール完成（当別学校プール1号）</p>	<p>28年</p>	<p>開校140周年記念事業 （全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成）</p>
<p>47年</p>	<p>体育館完成</p>	<p>29年</p>	<p>全道書道コンクール団体優勝 （13年連続24回目）</p>
<p>52年</p>	<p>新校舎完成、落成式挙行</p>	<p>30年</p>	<p>全国学生書道展覧会団体優勝 （19年連続29回目）</p>
<p>53年</p>	<p>開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈</p>	<p>31年</p>	<p>当別町教育功績表彰受賞 （芸術文化功績賞）</p>
<p>57年</p>	<p>学校基本調査について文部大臣表彰</p>	<p>32年</p>	<p>全道書道コンクール団体優勝 （14年連続25回目）</p>
<p>58年</p>	<p>学校の教育目標改訂</p>	<p>33年</p>	<p>全国学生書道展覧会団体優勝 （20年連続30回目）</p>
<p>59年</p>	<p>創立110周年記念式典挙行、 P.T.A記念事業により遊具施設設置</p>	<p>34年</p>	<p>当別町教育功績表彰受賞 （芸術文化功績賞）</p>
<p>63年</p>	<p>石狩地区小学校放送教育研究指定校</p>	<p>35年</p>	
<p>平成 7年</p>	<p>石狩管内教育実践表彰受賞</p>	<p>36年</p>	
<p>12年</p>	<p>石狩地区小中学校放送教育研究大会開催</p>	<p>37年</p>	
<p>12年</p>	<p>「ことばの教室」1学級認可</p>	<p>38年</p>	
<p>12年</p>	<p>学校給食開始</p>	<p>39年</p>	
<p>12年</p>	<p>コンピュータ教室設置</p>	<p>40年</p>	

教育目標

「一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、
 平和で幸福な社会の担い手として、心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。」

- ◇ 知性をみがく子ども （よく考える子ども） 〈知〉
- ◇ 心豊かな子ども （心のゆたかな子ども） 〈情〉
- ◇ 意志の強い子ども （さいごまでやりぬく子ども） 〈意〉
- ◇ からだのじょうぶな子ども （強いからだの子ども） 〈体〉

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 命や思いやりを大切にする心の育成 ◆ 小中9年間を見通した確かな学力の定着・向上 ◆ 自分の健康に関心を持ち、運動が好きな子どもの育成 ◆ 家庭や地域との連携・情報発信 <p>※「自分づくり」「仲間づくり」を促す指導を通して</p>																																													
研究主題	<p>≪ 学校課題 ≫ 『やる気と自信を高めていく子どもの育成』 ～豊かな心と確かな学力育成のための基礎的・基本的な内容の指導を通して～</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「わかる・できる喜びを感じる算数科の授業づくり」 ～学習過程の工夫を通して～</p>																																													
特色ある教育活動	<p>1 読書活動の推進 朝の読書タイム（全校一斉）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</p> <p>2 書道教育の推進 毎月「書道の週間」を設け、全校一斉に書道に親しむ活動を行う。作品展への出品やコンクールへの挑戦、作品掲示を励みとし、書道に興味を持たせ、自ら進んで取り組む環境をつくる。週1回の朝書道では、筆ペンや硬筆で名前や名文を練習する。</p> <p>3 学校支援ボランティアの活用 読書活動のボランティアをはじめ、農協青年部やNPO関係者、社会福祉協議会の専門職員、役場職員など、学年の発達段階や題材テーマに合わせてゲストティーチャーとして強力な支援を受けている。</p>																																													
学級編制	平成27年5月1日現在																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ffff00;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>33</td> <td>7</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>1</td> <td>193</td> </tr> <tr style="background-color: #ffff00;"> <td>合計</td> <td>56</td> <td>52</td> <td>69</td> <td>65</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>8</td> <td>395</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	男子	27	26	32	35	42	33	7	202	女子	29	26	37	30	31	39	1	193	合計	56	52	69	65	73	72	8	395
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16																																						
男子	27	26	32	35	42	33	7	202																																						
女子	29	26	37	30	31	39	1	193																																						
合計	56	52	69	65	73	72	8	395																																						
教職員	平成27年5月1日現在																																													
	<p>校長 菊崎 睦 裕</p> <p>教頭 三島 哲</p> <p>教職員数 教諭23名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名</p>																																													

弁 華 別 小 学 校

校 章 ・ 所 在 地



〒061-0208
 北海道石狩郡当別町字弁華別243番地
 電話：0133-23-2350 FAX：0133-25-5382

【校章の意味】

雪の結晶。中央の辨の文字。北国の大地の風土に耐え、ねばり強くたくましい郷土を表す。

校 歌

二 えぞが島根の われらいざ 心を磨き 身を鍛え 世のため尽す 誠こそ わが学舎の 誇りなれ	一 阿蘇のふもとの われらいざ 望みは高し 弁華別 ただ真心の 一つもて 学びの道に いそしまん	作 詞 工藤 不二夫 作 曲 五十嵐 富士男
--	--	---------------------------

沿 革 の 概 要

明治 25年	5月	当別尋常小学校弁華別分教場として開校	昭和 57年	9月	開校90周年記念式典・祝賀会举行
	38年	8月 当別第一尋常小学校と改称され、独立校へ	平成 2年	8月	緑の少年団結成
				4年	9月 開校100周年記念式典・祝賀会举行
				15年	1月 開校110周年記念誌
大正 5年	2月	弁華別尋常小学校と改称			「わが学舎」発行
	11年	4月 弁華別尋常高等小学校と改称	23年	9月	全道へき地複式教育研究大会石狩
昭和 6年	6月	校章と校歌の制定			プレ大会実施
	12年	7月 現校舎新築落成	24年	9月	全道へき地複式教育研究大会実施
	16年	4月 弁華別国民学校と改称	25年	2月	開校120周年記念誌
	22年	4月 弁華別小学校と改称			「あそいわ」発行
		6月 弁華別教育振興会設立	26年	9月	当別町学校教育研究推進協議会
	27年	9月 開校60周年記念式典・祝賀会举行			学校課題研究発表会開催
	36年	9月 開校70周年記念式典・祝賀会举行		10月	閉校記念事業協賛会設立
	50年	4月 青山小学校との統合			

教 育 目 標

- ◇ 自ら進んで考える子どもを育てる <知>
- ◇ 心がやさしく、助け合う子どもを育てる <情>
- ◇ 工夫し、何事もやり通す子どもを育てる <意>
- ◇ 健康でたくましい子どもを育てる <体>

経 営 の 重 点

- ◆学校経営 教職員一人一人が主体的に学校経営に参画し、協働して分掌経営にあたる体制を充実させる。
- ◆教育課程 学校の特色を生かした創意ある教育課程するとともに、将来を見通した学校間交流を実施する。
- ◆研修活動 校内研修や自己研修を充実し、生徒指導の機能を生かした教科指導・道徳指導・特別活動指導等の指導技術の向上に努める。
- ◆学年学級経営 一人一人の子どもを大切にされた個性あふれる学年学級経営に努める。
- ◆学習指導 継続した学習意欲の向上を目指すとともに、基礎基本の習得と活用力の育成を図り、「確かな学力」が身につく学習指導を推進する。
- ◆道徳教育 自他を大切に、豊かな感性や思いやりの心を育てる道徳教育を推進する。
- ◆特別活動 一人一人の子どもが意欲的に活動する特別活動を推進する。
- ◆総合的な学習の時間 総合的な学習の時間における体験的・問題解決的指導計画の編成、実践を推進する。
- ◆外国語活動 外国語を通して言語や文化の違いに気づくとともにコミュニケーション力を高める。
- ◆ふるさと学習 ふるさとを愛し、ふるさとで生きる喜びを感じさせる「ふるさと学習」を推進する。
- ◆生徒指導 全教職員の共通理解に立ち、心のふれあいを大切に生徒指導を推進する。
- ◆健康・安全教育 生命を尊重し、たくましい心身を育む健康・安全指導を推進する。
- ◆特別支援教育 個に応じた指導が生きる特別支援教育の推進を図る。
- ◆進路指導 将来に向かって夢や希望、憧れを持ち、目標に向かって努力できる子を育てる指導の充実を図る。

研究主題

《 学校課題 》
 伝えよう！広げよう！元気・明るさ・思いやり

《 研究主題 》
 自ら学びを追究し、ともに高め合う子どもの育成
 ～一人一人の学びが広がる授業の構築～

特色ある教育活動

- 1 確かな学力**
- (1) **あそいわタイム** ○漢字学習と四則計算を中心とする算数と全校朝読書
- (2) **漢字なりたち学習** ○低・中学年を中心に剥落しない漢字習得
- (3) **わくわくフェスティバル** ○総合的な学習の時間の充実とプレゼンテーション能力の向上(学芸会において中間発表を行う)
- 2 豊かな心**
- (1) **全校宿泊学習** ○縦割り班活動を通じた実践力の向上と人間関係作り
- (2) **全校登山遠足** ○発達段階および個人の目標を大切に、頑張る心と体力・健康を育てる
- (3) **交流学習** ○インターネットを利用した、他地域の児童との交流広い世界の認知と交歓をめざす
- 3 健康な体・安全な生活**
- (1) **全校水泳学習**、**全校スキー学習** ○職員協働による指導で、細かいグループ分けを行い、学習の充実を図り個人の能力の向上をめざす
- (2) **着衣水泳**「(隔年…偶数年に実施)」**不審者対策** ○日常の安全指導に加え、不慮の事件・事故に備えた生命を守る指導の実施
- 4 ふるさと学習**
- (1) **農園活動** ○低・中・高学年で栽培する種類を分担し全校の収穫祭を実施する等、生命を育む活動を校内のテーマに沿って展開する
- (2) **緑の少年団活動** ○募金活動・植樹活動・地域清掃活動等により、環境保全の意義を、全校児童に十分に意識させる
- (3) **地域人材活用** ○外部講師(ゲストティーチャー)・専門家(町ALTを含む)等の積極的な導入による授業の充実を図る
- 5 小中連携**
- (1) **小中合同運動会**「(H27…中学校会場)」○合同運動会の計画から反省までの一連をより深く連携して実施
- (2) **小中共同授業研究** ○小中の学級担任・教科担任が相互に交流して接続を密にし、小中の接続をスムーズにする

学級編制

平成27年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
学級数	1			1	1			3
男子	1	1		0	0	2		4
女子	0	2		4	2	1		9
合計	1	3		4	2	3		13

教職員

平成27年5月1日現在

校長 山口 浩

教頭 布施 裕

教職員数 教諭3名 養護教諭1名 非常勤講師1名

西 当 別 小 学 校

校章・所在地



〒061-3776
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地
 電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

校 歌

<p style="text-align: center;">三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作 詞 坂本 作 曲 津田 甫 亮</p>
---	---	---

沿 革 の 概 要

昭和26年 8月 1日	獅子内小学校・太美小学校が 合併し西当別小学校設立	平成 9年 4月 1日	「たんぼぼ学級」設置
11月24日	新校舎落成・移転	13年 1月30日	新学校教育目標制定
12月10日	校章制定	9月 9日	開校50周年記念式・祝賀会
27年 2月11日	西当別小学校校歌制定	14年	視聴覚室改修
32年11月 8日	校舎増築、屋内体育館完成	15年	児童図書管理コンピューター化
36年 9月13日	開校10周年記念式挙行	16年 6月18日	ハマナス50本植樹 (朝日新聞社より寄贈)
46年 9月12日	開校20周年記念式挙行	18年 4月	文部科学省指定の
48年 9月13日	増築校舎完成 (理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)	19年 6月19日	「小中連携事業」開始(2カ年)
50年10月 6日	北海道小中学校放送教育研究 大会開催	10月31日	国際理解教育開始(ALTとの学習)
56年 9月13日	開校30周年記念式・祝賀会	22年 2月27日	JICA研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)
57年11月29日	新校舎完成 (普通教室4・音楽室・理科室)	22年10月10日	当別町青少年善行賞受賞 (リングプル・エコキャップ収集)
58年12月 4日	新体育館落成式・祝賀会	22年10月10日	当別町140年記念 パレード見学、記念式典参加 (5年生)
62年11月24日	開校記念日指定・祝賀会	23年 6月17日	大崎市へ震災復興激励の横断幕 の送付
平成 元年 5月26日	グラウンド改修工事	24年 6月 1日	JR電化祝賀式典参加
3年 4月 1日	高岡小学校本校へ統合	26年 9月 1日	西当別地区プレイハウスが 西当別小学校内へ移転
6年 2月20日	増築校舎落成式・祝賀会		
7年 3月31日	プレハブ校舎4教室完成		
平成 8年11月 8日	増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室)		

教 育 目 標

- ◇ 心ゆさぶる感性 <心> ・のびのび語り合う子
 - ◇ 学び求める知性 <学び> ・ぐんぐん学び合う子
 - ◇ 生き方が個性 <生き方> ・もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆確かな学びづくり 確かな学力を支える、基礎・基本の習得及び活用する力の育成 ◆豊かな心づくり 人とかかわり、共に生きるための、豊かな人間性・社会性の育成 ◆健やかな体づくり たくましく生きるための、健康や体力の育成 ◆信頼される学校づくり 地域が誇り保護者が集う、信頼される学校づくりを推進 																																													
研究主題	<p>≪ 重点目標 ≫ 「進んで学び、高め合う、心豊かでたくましい児童の育成」</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「課題に向かって主体的に学ぶ子どもの育成」 ～見通しを持って意欲的に課題解決に取り組む算数科を目指して～</p>																																													
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を大切に確かな学力を身につける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・1～2年は国語と算数、3～6年は算数の時間にT T・少人数指導を実施 ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学生ボランティアSATを活用した授業の実施 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 NPOと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の「朝の読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」 ・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる小中連携事業の充実・発展 																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>5</td> <td>293</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	男子	25	26	23	18	36	27	4	159	女子	25	15	20	24	21	28	1	134	合計	50	41	43	42	57	55	5	293
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14																																						
男子	25	26	23	18	36	27	4	159																																						
女子	25	15	20	24	21	28	1	134																																						
合計	50	41	43	42	57	55	5	293																																						
教職員	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <p>校長 樟山行彦</p> <p>教頭 橋本由美</p> <p>教職員数 教諭17名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名</p>																																													

当 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-0205

北海道石狩郡当別町下川町 125 番地

電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

【校章の意味】

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

校歌

<p>三 開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讀えん ああ我が郷土</p>	<p>二 白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれは 真理きわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p>一 緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p>	<p>作詞 井上 治雄 作曲 工藤 定一</p>
--	---	--	------------------------------

沿革の概要

<p>昭和 22年 5月 当別村立当別中学校が開校 11月 校章制定 25年 9月 校歌制定 10月 独立校舎に移転（旧競馬場跡） 27年 8月 中小屋分校が独立 30年 4月 三番川、四番川分校が本校の分校に 32年 10月 同窓会発足 11月 開校10周年記念式典 33年 4月 三番川、四番川分校が独立 36年 7月 当別川が氾濫し校舎床上浸水 41年 4月 ときわ学級開設（特殊学級） 42年 6月 開校20周年合同記念式典 44年 4月 牛乳給食開始 11月 新校舎完成竣工・移転完了 48年 4月 スクールバス運行開始 52年 9月 開校30周年記念式典 58年 7月 校舎改築工事 平成 4年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 8年 1月 学校給食開始</p>	<p>平成 9年 6月 スクールカウンセラー配置 11月 当別中学校開校50周年記念式典 15年 10月 第3回東日本学校 吹奏楽コンクール金賞（C編成） 17年 3月 除雪ボランティア善行顕彰を受賞 19年 11月 石教研学校課題研究発表 20年 8月 剣道部女子全道大会出場 21年 7月 相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場 22年 7月 相撲部全道大会準優勝 10月 当別町140年記念パレード、 記念式典参加 23年 1月 校舎・体育館耐震化工事完了 12月 バックネットの改修工事完了 24年 6月 JR学園都市線電化開業記念イベント 参加 25年 12月 東生徒トイレ改修 26年 2月 西生徒トイレ改修</p>
---	--

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう

精神

「優しく 強く」

経営の重点	<p>【信頼され、開かれた、質の高い学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自己点検・自己評価（保護者アンケート・生徒アンケート含む）・学校関係者評価の実施及び結果の公表、情報の共有化による小中高の連携、協力の推進 ほか <p>【知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 知性のある生徒〈知〉 ◆ 人の感情がよく分かる生徒〈徳〉 ◆ 厳しく自らを鍛え体のエネルギーが漲っている生徒〈体〉 																														
研究主題	<p>《 学校 課題 》 学び合い、認め合い、高め合う心豊かな生徒の育成</p> <p>《 研究 主題 》 「一人ひとりの確かな学力を育成する指導方法の工夫」 ～基礎基本の定着と学習習慣の確立を目指して～</p>																														
特色ある教育活動	<p>(1) 数学と英語でTT・習熟度別授業を実施</p> <p>(2) 全校的に日常の朝自習、週末課題への取り組み</p> <p>(3) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生 ～ 農業体験（ジャガイモの栽培） ○ 2年生 ～ 職場体験学習（2日間） ○ 3年生 ～ 当別を知る <p>(4) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(5) 部活動については体育系8部、文化系3部</p> <p>(6) 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p> <p>(7) 小中連携教育</p>																														
学級編制	平成27年5月1日現在																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #FFD700;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>51</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>4</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>44</td> <td>2</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>87</td> <td>77</td> <td>88</td> <td>6</td> <td>258</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	3	2	3	2	10	男子	51	41	44	4	140	女子	36	36	44	2	118	合計	87	77	88	6	258
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	3	2	3	2	10																										
男子	51	41	44	4	140																										
女子	36	36	44	2	118																										
合計	87	77	88	6	258																										
教職員	平成27年5月1日現在																														
	<p>校長 厚海嘉孝</p> <p>教頭 森 正彦</p> <p>教職員数 教職員数 教諭18名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師1名 特別支援教育支援員2名</p>																														

西 当 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-3772
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

校歌

四 大いなる 恵の朝 われら今 光を受けて 踏み分けん 真の長道 西当別 われらのふるさと	三 涼風は 垂穂にそよぎ 行く水は 広野うるほす 豊けしや みのりの里わ 西当別 われらのふるさと	二 緑なす 森の梢に 先人の 功徳びつ 集い合う 若人われら 西当別 われらのふるさと	一 石狩の 潮騒遠く 夕映えの 広がるほとり 厳かしく 立てる学び舎 西当別 われらのふるさと
作詞・作曲 倉島 繁			

沿革の概要

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 昭和 22年
23年
25年
26年
31年
32年
38年
42年
43年
46年
49年
51年
52年
54年
56年
57年 | 獅子内小に併置開校
当別町制施行町立に
校章制定、独立校舎落成
高岡分校設置
旧校歌制定
体育館落成
開校10周年式典
高岡分校独立
開校20周年式典
高岡中学校統合
町プール校地に設置
スクールバス運行
石狩管内教育実践奨励賞受賞
開校30周年式典
体育館落成
新校舎落成記念式典
校舎落成記念植樹
グランド完成 | 平成 4年
8年
9年
11年
12年 | 学校週5日制開始
学校給食完全実施、事務補配置
全国スキー大会回転優勝(豊島堅太)
開校50周年式典・スウェーデン訪問
全道剣道大会3位(菊池麻耶)
増築校舎完成
町P連研究大会(本校PTA主管) |
| 平成 13年
14年
15年
16年
17年
18年 | 特殊学級設置・10学級編制
全道新体操準優勝(岩倉 歩)
全道陸上砲丸投げ3位(山本竜太)
110mH3位(寺尾瑞基)
全道新体操優勝(岩倉 歩)
全道水泳50m自由形3位・100m自由形
2位(太田千晶)
全国新体操準優勝(岩倉 歩)
全道ソフトボール大会3位
新教育目標設定
全道ソフトボール大会3位
18・19年度国立教育政策研究所委嘱事業
小中連携教育実践研究指定校
当別町学校教育研究推進協議会学校研
究発表会 | 19年
20年
21年
22年
23年
25年 | 道「青少年の主張」大会優秀賞(萩原有希)
石狩管内教育実践奨励賞受賞
モンゴル国教育視察団訪問
ESD 日米教員交流団来校
当別町学校教育研究推進協議会学校研
究発表会
体育館大規模改修工事
旧校舎給水管改修工事 |

教育目標

ここ西当別の大地で、
 ◇ 高い知性 (知)
 ◇ 強い意志 (徳)
 ◇ 健やかな体 (体)
 を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実践力豊かな信頼される学校づくりの推進 ◆ 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進 ◆ 基礎基本の確実な習得と自ら考え判断し表現する力を育む教育の推進 ◆ 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 ◆ 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 ◆ 時代の要請や今日的な教育課題を踏まえ、新たな可能性を創造する教育の推進 ◆ 家庭、地域と連携し、地域と共に歩む教育の推進 																														
研究主題	<p>《 学校課題 》 豊かな心に根ざした確かな学力</p> <p>《 研究主題 》 自ら考え、進んで表現できる生徒の育成 ～自己肯定感を高める活動を通して～</p>																														
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際交流と国際理解学習 2 心に潤いを与え、豊かな情操を養う環境作り 3 全校生徒一斉のクリーン作戦・校内環境整備 4 生徒会によるピア・サポート運動 5 花壇整備、長寿園訪問、太美駅清掃、友愛セールなどのボランティア活動 6 義務教育9年間を見通した小中連携教育 7 全校朝読書の実施 8 環境教育 																														
学級編制	平成27年5月1日現在																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #FFD700;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>25</td> <td>42</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>2</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48</td> <td>79</td> <td>62</td> <td>4</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援級	合計	学級数	2	2	2	3	9	男子	25	42	25	2	94	女子	23	37	37	2	99	合計	48	79	62	4	193
学年	1年	2年	3年	特別支援級	合計																										
学級数	2	2	2	3	9																										
男子	25	42	25	2	94																										
女子	23	37	37	2	99																										
合計	48	79	62	4	193																										
教職員	平成27年5月1日現在																														
	<p>校長 菅原 裕行</p> <p>教頭 宮口 貴裕</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 特別支援教育支援員1名</p>																														

弁華別中学校

校章・所在地



〒061-0208
北海道石狩郡当別町字弁華別 429 番地
電話：0133-23-2349 FAX：0133-25-2068

【校章の意味】

雪の結晶に弁華別の弁を図案化し、ペンと地域性の象徴を表す。

校歌

一 白雲わたる 阿蘇の峰 当別川の 瀬々の歌 四季うるわしく むつみあい 学びの道に みなはげむ わが弁華別中学校	二 穂波に光る 金の風 開拓の父祖 しのびつつ こころとからだ きたえきて まげじとつよく みなちかう わが弁華別中学校	三 作曲 和田 徹三 工藤 健次
--	---	------------------------

沿革の概要

昭和22年 5月 1日 弁華別中学校開校 (弁華別小学校校舎一部使用) 弁華別教育振興会発足 (小・中合同のPTA組織発足 初代会長 近藤辰雄氏) 30年 2月18日～3月18日 旧校舎当別川渡河 (馬楯により弁小側から当別川の対岸に移動) 33年11月30日 校歌制定(ピアノ購入記念) 42年 女子籠球部管内中体連大会優勝 43年 女子籠球部管内中体連大会優勝 (2連覇を達成) 女子スキー部管内中体連大会優勝 59年 新校舎建築開始(管理棟) 60年 新校舎建築(特別教室) 61年 新校舎建築完成(体育館落成) 平成 2年 緑の少年団設立 (弁華別小学校・青山中央小中学校と 3校で組織し活動開始)	平成16年 第26回全日本リコーダーコンテスト出場 (銀賞・徳山賞を受賞) 17年 第27回全日本リコーダーコンテスト出場 (銀賞を受賞) 19年 国土緑化推進機構主催平成18年度全日本 学校関係緑化コンクール学校林等活動の部で 農林水産大臣賞(特選)を受賞 (平成18年度までの活動に対して) 20年 石狩管内教育実践奨励表彰 (総合的な学習“森林学習”の取り組みに 対して) 21年 当教研学校課題研究発表会 石狩管内教育機器活用研究大会開催 22年 全国中体連スキー大会 (安比高原スキー場)SL競技出場 23年 全国中体連スキー大会 (猪苗代スキー場)SL、GSL競技出場 25年 全国中学生人権作文コンクール感謝状受賞 (法務省人権擁護局) 26年 ユネスコスクール加盟承認 8月 生徒用・校務用コンピュータ入替
--	---

教育目標

～未来を見つめ、『より高く』『より強く』を志向する生徒～
 ◇ 豊かな知力 ◇ 思いやる心 ◇ 確かな判断力 ◇ 健やかな心と身体
 [平成11年4月1日制定]

【今年度の重点教育目標】
 ～確かな学力を身につけ、豊かな心で失敗を恐れず行動できる生徒の育成～

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本校の実態に即し、「生きる力」の育成を育む教育課程の実施と検証 ◆ 豊かな人間性とたくましさを育む教育の推進 ◆ 教師力を高める研究と研修の推進 ◆ 小中連携と小学校の学習を踏まえた教育の充実 ◆ 評価の充実と創意・総意を生かした学校経営の推進 ◆ 生徒・保護者・地域に発信し、課題を共有し合う学校づくりの推進 																									
研究主題	<p>《 研究 主 題 》 『確かな学力を身につけ主体的に活用しようとする生徒の育成』 ～基礎基本の定着と個に応じた指導の充実により、 思考力・判断力・表現力の向上に努める～ [平成25年度より3カ年計画の3年次目]</p>																									
特色ある教育活動	<p>1 朝 学 習 毎朝15分間、5教科テキストと、読書の2週交代のローテーションで学習を行い、基礎・基本の定着の促進と読解力を高める取り組みを進めている</p> <p>2 B T 本校では総合的な学習の時間をB T (Bright Time)とし、3分野で活動している 国際：国際交流（全校～北海道国際交流・協力総合センターと連携） 体験：1年～校外学習（小樽） 2年～職業体験、宿泊学習（札幌） 3年～修学旅行（東京）での体験学習 自然：農園活動～植え付けから日常の世話、収穫を行い、収穫したものは、国際交流での調理にも使用する。 森林学習～当別町から中小屋・上当別の町有林を借用し森林学習を進める 下草刈り・枝打ち・間伐・植林等の活動を行っている</p> <p>3 小中連携 弁華別小学校と合同運動会の実施や、地域清掃活動などを従来から行っている また、小中交流会を行い、小学校の先生方に中学校の学級活動・道徳の授業に入ってもらったり、中学校の先生が小学生に授業を行ったりする取り組みを行っている。</p> <p>4 連携教育 個を生かした指導の充実を図るため、外部講師の招聘に力を入れている 平成26年度 全校道徳：通信事業者の講師による携帯安全教室 全校B T：町役場総務課の協力による防災体験学習 全校B T：石狩振興局森林室及びボランティア団体「シラカンバ」による森林学習 全校B T：国際交流～北海道国際交流・協力総合センターと連携 (H26年：ブラジル・タイ・中国の方と交流) 2年B T：当別消防署等による一般救命講習 3年美術：千草屋(高橋千枝子氏)による陶芸教室</p>																									
学級編成	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	合計	学級数	1		1	2	男子	0	1	3	4	女子	2	1	2	5	合計	2	2	5	9
学年	1年	2年	3年	合計																						
学級数	1		1	2																						
男子	0	1	3	4																						
女子	2	1	2	5																						
合計	2	2	5	9																						
教職員	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <p>校長 浅田 眞</p> <p>教職員数 教諭5名 事務職員1名 非常勤講師4名</p>																									

➤ 2 学校給食

1 学校給食の役割

学校給食は、栄養バランスのとれた食事の提供だけでなく、正しい食習慣・食文化を伝え、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につける大切な学びの場です。

- 栄養バランスのとれた豊かな学校給食
- 望ましい食習慣を形成する学校給食
- 人間関係を豊かにする学校給食
- 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食

2 施設概要

区 分	概 要
名 称	当別町学校給食センター
所 在 地	石狩郡当別町若葉2224番地
敷地面積	3,625.00㎡ (1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡ (332.18坪)
構 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1,367食 (平成26年5月1日現在)

○運 営 ～ 民間会社へ調理・配送・配膳業務を委託

3 給食費の状況

区分	実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)	
小学校	1年	173～178	249	43,077～46,065
	2年	181～185		
	3年	181～184	255	46,155～47,175
	4年	181～185		
	5年	180～184	261	46,719～48,024
	6年	179～184		
中学校	1年	181～185	317	55,158～58,645
	2年	177～185		
	3年	174～176		

4 学校給食センター運営委員会

学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として11名の委員で構成されており、給食センターの運営に関わる基本的事項について審議しています。

[構成] 教職員5名、保護者3名、学識経験者3名 ※委員任期 2年

➤ 3 平成27年度当別町学力向上プラン

1 育みたい子ども像

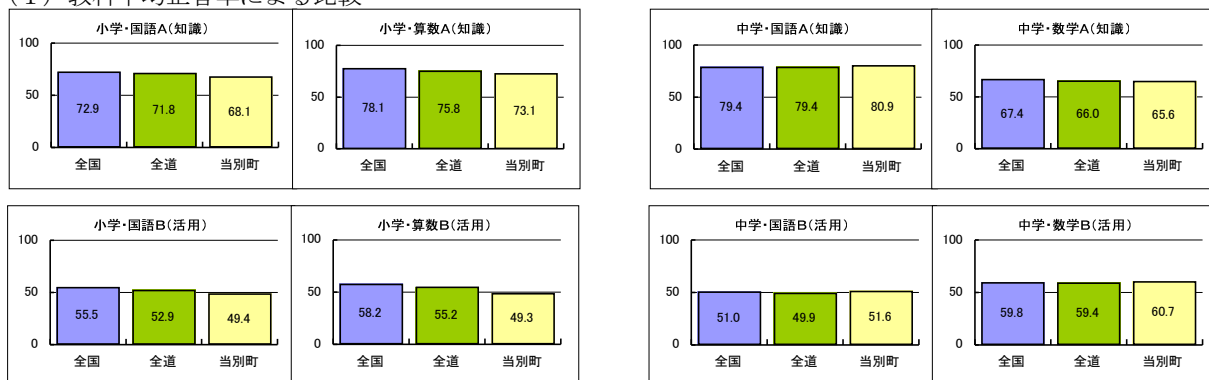
知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)のバランスのとれた児童生徒の育成

2 基本方針

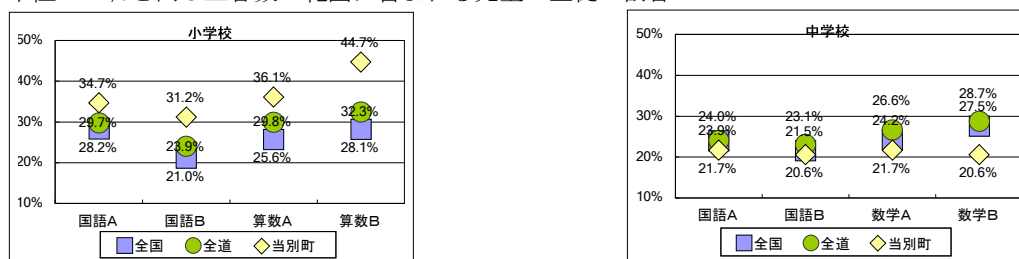
子どもの発達や学びの連続性を踏まえたいいいな教育の推進

3 当別の児童生徒たちの現状—平成26年度全国学力・学習状況調査より

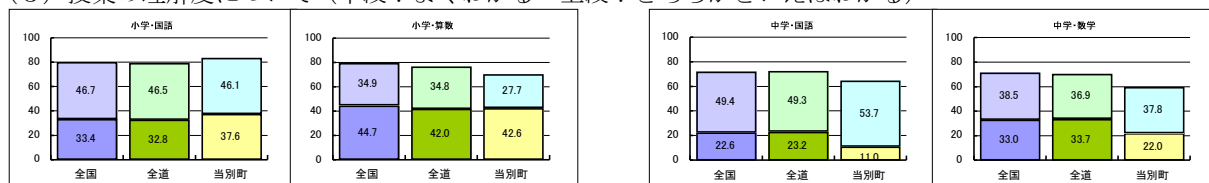
(1) 教科平均正答率による比較



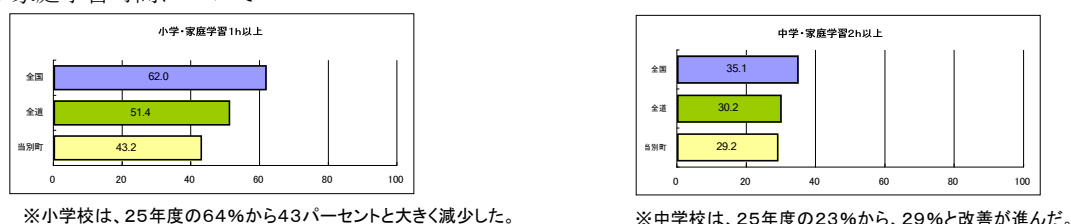
(2) 全国の下位25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童・生徒の割合



(3) 授業の理解度について (下段:よくわかる・上段:どちらかといえばわかる)



(4) 平日の家庭学習時間について



※小学校は、25年度の64%から43パーセントと大きく減少した。

※中学校は、25年度の23%から、29%と改善が進んだ。

4 学力面での成果と課題

(1) 小学校

- ①全4教科共に、全国平均に達することはできなかったが、国語A問題は改善の成果が表れてきている。
- ②国語Bでは、全国との差は縮めることができたものの「書くこと」(複数の条件を満たして文章に書くこと)の領域が大きく落ち込んでいる。
- ③小学校では、学習習慣の定着と児童の各教科の関心の高さが成果に結びついている。

(2) 中学校

- ①国語A・B、数学Bで、全国平均と同等・上回ることができた。数学Aで1.8ポイント全国平均に及ばなかったものの全体として改善が見られる。
- ②数学Aでは「関数」、数学Bでは「資料活用」の領域で課題が明確になった。
- ③中学校では、個に応じた指導が成果に結びついている。

5 質問紙調査にみる成果と課題

- ①TVやDVD視聴の時間は全国平均と同等もしくは減少傾向を示しているが、スマートフォンや携帯電話の使用が大幅に増加している。
- ②家庭学習では、平日に「1時間以上の実施状況」は、全国平均より小学校で18ポイント、中学校で6ポイント低い。休日（土・日）では、「2時間以上の実施」は当別町小学校で17.7%で全国平均より6.3ポイント低い。中学校では43.2パーセントで全国平均より2.9ポイント多い。
- ③「毎日朝食を食べる」については、一昨年・昨年、そして今年度（小95%・中95.8%）と年々向上させている。
- ④「読書が好き」は、全国平均を100とした比較では小学生が111.7、中学生が115.7で、読書を好むようになってきている。
- ⑤「自分には良いところがある」（自尊感情）は、全国平均を100とした比較では小学校103.4、中学校110.3で、向上している。
- ⑥「将来、人の役に立ちたい」と答えている小学校91.4%、中学校95.8%と、昨年度より4ポイント以上向上している。

6 当別町教育委員会の取組

①教職員加配やSAT等の派遣による少人数、習熟度別指導など、個に応じた指導の工夫改善	⑥地域人材の活用による学校への支援、土曜学習、放課後学習の実施
②学校教育指導員や石狩教育局指導主事による指導（授業改善）	⑦小中一貫教育の推進～道教委モデル事業の実施、小中連携の取組への支援
③各学校の学校改善プランに対する指導助言	⑧「当教研」での研究指定や各種事業への支援と助言
④「当別町学力向上プラン」の策定と実施、チャレンジテストへの参加奨励	⑨長期休業中の教職員研修会、期限付教員の授業指導・課題研修の実施
⑤国際理解教育、小学校「英語」の拡充	⑩ICT教育機器の配置と活用のための研修実施

7 学校の取組

①自校の教育課題解決のための教育課程の編成・実施・評価・改善の取組	④統一感ある掲示や教材教具の整備点検などの学習環境整備	⑦学校からの情報発信による、保護者・地域との協働、連携
②「学校改善プラン」の策定・実行・評価・改善	⑤「家庭学習の手引き」活用、宿題・週末課題等による家庭学習の促進	⑧朝読書や朝学習等授業以外の時間の活用、学力向上ウェブへの参加
③授業力向上を目指した「校内研修（ICT活用、学習規律やノート指導等）」や「OJT」の充実	⑥道徳の時間を機軸とした豊かな心を育む教育の推進	⑨学力向上のための小・中連携

8 平成27年度の目標

- (1) 全国学力・学習状況調査において、全教科の平均正答率を全国平均と同様にする。（北海道共通課題）
- (2) NRT／CRT検査での経年した分析結果（小中連携）を生かした授業改善の取組推進。
- (3) 全国学力・学習状況調査において、下位層の割合を26年度より、10パーセントの減少を目指す。
- (4) 質問紙調査で、学校の授業が良くわかる児童（国語37.6%・算数42.6%）を50%以上、生徒（国語11.0%・数学22.0%）を50%以上にするとともに、「授業がだいたいわかる」も含めた児童生徒を90%以上にする。
- (5) 家庭学習で、小学生は「毎日10分×学年数」、中学生は、「毎日1時間以上」を目途とし、毎日80%以上の児童生徒が行うことを目指して、各校独自の組織的な取組を行う。

9 家庭との連携

- (1) 今年度の重点として、教育委員会作成の「家庭教育の手引き」より、以下の5点の実践を促す。
(学校だよりや学級通信等へ掲載)

- ①就寝、起床など、リズムある生活を送らせよう。
- ②学習時間を確保し、毎日勉強させよう。
- ③読書時間を確保し、本に親しませよう。（毎月の文の日の活用）
- ④得意分野を見つけ、ほめて伸ばそう。
- ⑤子どもとの対話を大切にしよう。

- (2) 各学校（小中連携した）独自の「生活リズムチェックシート・家庭学習の進め方」等の取り組みを通して家庭教育を支援する。
- (3) 学校だより、学年通信、学級だより、ホームページ等により、児童生徒理解・学校理解に努め、保護者・地域との連携を推進する。

▶ 4 当別町の小中一貫教育

町では、平成27年3月に「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」を策定しました。

この基本方針は、当別町第4次生涯学習基本計画で検討すべきとされた一体型による一貫教育を基本としつつ、一体型一貫校設置の過程において、当分の間、現在設置されている小学校と中学校の連携のもとで、義務教育9年間を見通した系統的で継続性のある一貫した教育を実現しようとするものです。

※「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」の詳細は、当別町教育委員会のホームページに公開しています。(アドレス：<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/site/kyoiku-top/>)

《 小中一貫教育基本方針 》 [平成27年3月策定]

1 当別町で進める小中一貫教育の目的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する

2 当別町小中一貫教育でめざす方向性

一貫教育でめざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

一貫教育でめざす学校像

- (1) 上位の学校へのスムーズな移行や、ずれや逆転のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- (2) その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- (3) 地域や保護者の思いが活かされ共に歩める学校
- (4) 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

一貫教育でめざす地域像

- (1) 学校がまちづくりの核である地域
- (2) 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- (3) 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- (4) 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

一貫教育でめざす児童生徒像

- (1) 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲
- (2) 豊かな人間性
- (3) 健全な心身
- (4) コミュニケーション能力
- (5) プレゼンテーション能力
- (6) 当別が好きな子ども

3 当別町で進める小中一貫教育の概要

- (1) 全小学校・中学校での小中一貫教育の実施（目標の設定）
- (2) 義務教育9年間を連続した教育課程の編成（教育課程の編成）
- (3) 地域の特徴を活かした教科の導入（当別学の創設・国際教育の推進）
- (4) 児童生徒や教職員の交流（教科担任制導入や習熟度別学習と教職員の意識改革）
- (5) 発達段階に応じた学年区分による指導
- (6) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- (7) 適正な学校規模の維持と良好な教育環境の確保（老朽化した施設の改善・児童生徒数の減少への対応）

4 当別町の施設形態

当初は、現在の中学校区にあわせ、2校の義務教育学校の設置を想定し、2校4校舎でのスタートに向け、取り組みを進めていきます。また、なるべく早い時期に、より教育効果が得られる施設一体型の一貫教育に移行します。

5 推進体制

一貫教育を推進していくため、学識経験者、学校関係者、保護者・地域の代表、公募による町民の代表、教育委員会事務局などで構成する組織を設置します。

6 スケジュール

平成27年度	カリキュラム等の作成・教職員研修の実施 小学校・中学校間の連携の強化
平成28年度	小中一貫教育の試行実施（一部教科担任制） カリキュラム等の作成・教職員研修の実施 小学校・中学校間の連携の強化
平成29年度	小中一貫教育を全小中学校で開始 教職員研修の実施
平成30年度以降	一貫カリキュラムの拡大実施（教科・教科担任制等） 教職員研修（新規採用・転入者・継続）の実施 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進



《 小中一貫教育の取組 》

当別町教育委員会では、平成26年度から北海道教育委員会の指定を受け、「小中連携、一貫教育実践事業」に取り組んでいます。

当別町の児童生徒一人ひとりが夢や希望を持ち、実現していく力を育てるため、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図る学習指導のあり方についての実践研究を行う取組を「当別小中ドリカムプロジェクト」として、当別小学校、当別中学校が連携し、義務教育9年間を見通した指導のあり方などを研究しています。

【平成26年度の取組】

- 小中合同研修会の実施^{※1}（講師：北海道教育大学釧路校 教授 中村典生 氏）
- 道内外の先進地視察研修^{※2}（小中一貫教育全国サミット in 姫路 等）
- 9年間の系統性を明らかにした、算数、数学の「年間指導計画」等の作成
- 板書の仕方など、統一性のある学習規律の共有
- 保護者向け「家庭学習の手引」の作成
- 地域連携協議会の開催（2回）

（地域連携協議会の構成：教委、学校、保護者、石狩教育局、管内の先進的取組実践校）

※1、※2については、北海道教育委員会事業「地域連携研修事業」を活用して実施しています。



小中合同研修会のようす 26.8



地域連携協議会（第2回）のようす 27.3



家庭学習の手引き

【平成25年以前の小中連携・一貫教育の取組】

- **中1ギャップ問題未然防止事業**（H22-24 道教委指定事業）
指定校 当別小学校・当別中学校
内容 当別町立当別中学校区における中1ギャップ解消プラン
- **小・中連携教育実践研究事業**（H18-19 国立教育政策研究所受託事業）
実施校 西当別小学校・西当別中学校
研究課題 生徒指導に関する改善
～9年間を見通した一貫した生徒指導の工夫改善～

➤ 5 保護者支援制度

1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行う。

内訳（平成27年度支給額）

（単位：円）

区分		小学校	中学校	支給内訳
新入学児童生徒 学用品費等	1年	20,470	23,550	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品
学用品費(学) 通学用品費(通) 校外活動費(校)	1年	(学) 11,420	(学) 22,320	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品(実験、実習教材費を含む)、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	(学) 11,420 (通) 2,230 (校) 実費	(学) 22,320	
	3年		(通) 2,230	
	4年		(校) 実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,020	37,340	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	武道用具		7,510	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
学校給食費		1・2年 249円 3・4年 255円 5・6年 261円 ×実食数	1~3年 317円 ×実食数	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫(虫卵保有を含む)をいう。

就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員		146	118	121
	決算額		9,339	7,957	7,872
中学校	実施人員		108	77	82
	決算額		10,905	8,632	10,412
計	実施人員		254	195	203
	決算額		20,244	16,589	18,284

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図る。

内訳（平成27年度上限額）

（単位：円）

区分		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	10,235	11,775
学用品・通学用品購入費		5,710	11,160
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,010	18,670
	柔道		3,755
	剣道		25,970
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,785	3,005
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		775	1,120
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,440	28,185
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員		8	12	11
	決算額		279	460	413
中学校	実施人員		6	7	8
	決算額		389	400	508
計	実施人員		14	19	19
	決算額		668	860	921

3 特別支援学級等通学援助費

小学校および中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する特殊事情にかんがみ、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及を図る。

特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員		45	44	42
	決算額		261	247	234
中学校	実施人員		9	10	11
	決算額		54	60	66
計	実施人員		54	54	53
	決算額		315	307	300

4 私立幼稚園助成費

(ア) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の格差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付する。

内訳（平成27年度基準額）

学校1・2・3年生の兄・姉の状況		小学校1・2・3年生の兄・姉のいない世帯			小学校1・2・3年生の兄・姉が1人いる世帯		小学校1・2・3年生の兄・姉が2人以上いる世帯
同一世帯から幼稚園に通っている人数		同一世帯1人目	同一世帯2人目	同一世帯3人目以降	同一世帯1人目	同一世帯2人目以降	
補助基準※ (平成27年度町民税)		補助上限額（年額）円					
1	生活保護を受けている世帯	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000
2	町民税が非課税または町民税の所得割額が非課税の世帯	272,000	290,000	308,000	290,000	308,000	308,000
3	町民税の所得割課税額が34,500円＋（16歳未満の扶養親族の数×21,300円）＋（16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円）以下の世帯	115,200	211,000	308,000	211,000	308,000	308,000
4	町民税の所得割課税額が171,600円＋（16歳未満の扶養親族の数×19,800円）＋（16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円）以下の世帯	62,200	185,000	308,000	185,000	308,000	308,000
1～4に該当しない世帯		対象外	154,000	308,000	154,000	308,000	308,000

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対象幼児数	157	149	133
補助金交付額	18,869	17,742	18,130

(イ) 当別町私立幼稚園特別支援教育費補助金

特別な支援が必要とされる幼児が在園し、かつ、特別支援教育支援員を置く町内の私立幼稚園に対して、補助金を交付する。

内訳

幼稚園において採用する特別支援教育支援員の人件費

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対象幼児数	5	2	4
補助金交付額	525	1,507	1,424